

総合計画実施計画（平成21～23年度）策定方針

1 策定の趣旨

この計画は、市民それぞれが夢や希望を持ち、幸せに暮らせる都市として、本市が今後も魅力や個性を磨き、持続的に発展していけるよう、計画的で戦略性の高い行政経営を展開していくため、「第5次宇都宮市総合計画」の内容を今後どのように実施していくかを明らかにし、もって予算編成及び事務執行の指針とするために策定する。

2 計画の構成と期間

構成：事業計画及び財政計画

期間：平成21年度から平成23年度までの3か年

3 今回の計画の位置付け

本市は、本年3月に、これからのまちづくりの指針である「第5次宇都宮市総合計画」を策定したところである。

今回の実施計画は、「第5次総合計画」を推進する、実質的に最初の計画であるとともに、同基本計画の前期5年（H20～24）の中心となる期間について定める計画となることから、基本計画において掲げた「まちづくり戦略プラン」や、「分野別計画の重点事業」の“本格始動”を図り、総合計画を着実に“実現していく”計画とする。

4 現状認識と基本的な考え方

（1）社会経済情勢

少子・高齢化の一層の進行、地球環境問題の深刻化、また、人々の価値観の多様化や分権型社会の進展など、時代潮流は大きく変化しつつある一方で、昨今の不透明で不確実な世界金融情勢や、食料・エネルギー・原材料の価格高騰などにより、わが国においても今後の経済情勢の見極めは困難を増している。

本市においては、こうした激変する社会経済情勢にあっても、持続可能な都市を実現するための仕組みづくりや、都市構造の構築に努めていくことが必要である。

（2）激化する都市間競争

本市は、北関東唯一の50万人都市であり、全国的な人口減少基調にもかかわらず

ず今後10か年程度は人口増加が予測されるとともに、「商・工・農」がバランス良く展開されるなど、都市の活力の発揮において高いポテンシャルを有している。

現在、全国の自治体において「ふるさと納税制度」や「都市ブランド」による売り込みが盛んになっている中で、本市は、こうしたポテンシャルの自覚と自信に基づき、将来の道州制の州都を見据え、独自性の高い魅力や風格、存在感などを磨くとともに、これらを市内外に発信することにより、市民や事業者から「選ばれる都市」となることが必要である。

(3) 本市の財政見通し

歳入において、財源の根幹である市税は、固定資産税などの減収が予想される一方で、歳出においては、扶助費や物件費が増加するほか、本市がこれまで計画的に進めてきた、宇都宮駅東口地区や雀宮駅周辺地区の整備など、本市の未来の礎となる大型プロジェクトの多くが、今後3年以内に本格化や完了を迎えるなど、投資的経費の増大が見込まれている。

このため、今年度の計画策定においては、限りある行政経営資源を、より有効に活用するため、第5次総合計画の実現に、真に必要な施策・事業を、例年にも増して厳しく「選択」する必要がある。

5 施策・事業選択の考え方

前述の基本的な考え方を踏まえ、以下の点を基本として、緊急性や重要性、事業熟度などを見極めながら、重点的・優先的に取り組むべき施策・事業の「選択」と、行政経営資源の「集中」の徹底を図ることとする。

(1) 総合計画の実現と現行計画計上事業の精査

① 総合計画基本計画の実現について ……【別紙参照】

第5次総合計画に掲げた「“幸せ力”アップ」「“ブランド力”アップ」「“底力”アップ」の、3つの『まちづくり戦略プラン』を実現するため、「子どもたちの“笑顔の輪”拡大プロジェクト」をはじめとした、10の『戦略プロジェクト』を推進する施策・事業については、事業の熟度を高め、優先的・重点的に取り組むものとする。

② 現行計画計上事業の精査について

現行の実施計画（平成20～22年度）を基本としながらも、今年度の計画策定においては、市民ニーズの変化や、所期の事業目的、これまでの事業成果についての厳密な検証を行い、継続実施の必要性をはじめとして、事業手法の再構築など、原点から見直すものとする。

(2) 「全国に誇れる・選ばれるまちづくり事業」の推進

本市が日本一と言えるような、全国に誇ることのできる施策・事業を積極的に展開し、他の自治体との差別化を図っていくことにより、市民が誇りや愛着を持ち、将来にわたって「住んでよかった」、「住み続けたい」と思うことができる都市を実現する必要がある。

そのため、以下のような施策・事業を、優先的に選択する。

- ・地域の資源やアイデアを活用し、宇都宮らしさや独創性・独自性があり、「宇都宮オリジナル」や「宇都宮モデル」として全国に誇れるもの
- ・市民ニーズや時代の趨勢を見据え、全国に先駆けて取り組むもの
- ・活動量やその成果などが客観的・定量的に全国でトップクラスにあるもの

(3) ネットワーク型コンパクトシティ形成の促進

本市においては、「都市の成り立ち」を活かしつつ、人口規模や人口構造、都市活動に対応するとともに、都市的機能と自然環境が調和した都市空間の姿である「ネットワーク型コンパクトシティ」の形成により、持続可能なまちづくりを進めていく必要がある。

そのため、以下のような施策・事業を、優先的に選択する。

①「拠点化」の促進

- ・本市の中核的な拠点として、高度で多彩な機能や、広域的な交流拠点としての機能など、「都市拠点機能」の集積に資するもの
- ・地域の特性と調和しながら、周辺地域の核となる「地域拠点機能」の充実に資するもの
 - ⇒ 中心市街地の活性化、広域交流拠点の整備、交通結節機能の整備 など
- ・身近な日常生活に対応し、また、地域特性を踏まえた魅力や活力を形づくる「生活拠点機能」の充実に資するもの
 - ⇒ 域内生活交通の確保、高齢者外出支援、地域コミュニティの活性化 など

②「ネットワーク化（連携）」の促進

- ・拠点間における機能の連携・補完、他圏域との広域的連携の軸（ネットワーク）の形成・強化に資するもの
 - ⇒ 公共交通ネットワーク・道路ネットワークの充実、情報ネットワークの拡充 など

6 策定にあたって配慮すべき事項

より効果的で質の高い行政サービスの実施と提供を実現するため、全ての事業において下記の視点からの検討を行い、計画を策定する。

(1) 柔軟な発想による事業の企画・立案

- ・道路特定財源の一般財源化をはじめとした国の財政構造の変化に伴い、地方自治体においては財源の安定的な確保や、より一層の効果的な事業執行が課題となる。そのような中においても、目指すべきまちづくりが実現できるよう、構造改革特区・地域再生制度や、国・県のモデル事業を積極的に活用するなど、創意工夫を図りながら事業を進める。

(2) 発信力・伝達力の向上

- ・本市の施策・事業など、行政活動の内容や成果を市内外に発信し、市民をはじめ

めとした受け手に確実に伝えていくことは、相互の信頼関係を構築するとともに、市民や受け手から適切な評価を得ることにつながる取組である。

- ・このため、施策・事業の展開においては、そうした情報発信・伝達の意義を十分に認識し、より効果的な手法を検討する。

(3) 成果重視と効率性の高い行政経営

- ・行政評価結果や市民意識調査結果、他都市との水準比較の分析などにより、これまで取り組んできた施策・事業の成果を検証しながら、本市が今後目指すべきレベルや目標を明らかにし、施策・事業の優先化・重点化を徹底する。
- ・本市が進める「もったいない」運動の精神を生かし、既存施設の多目的利用や、用途の見直し、長寿命化などを進めるとともに、未利用の土地や施設など既存ストックの最大限の有効活用に努める。
- ・新規事業を計上する場合は、既存事業の統廃合や事業量の調整を行うなど、スクラップ・アンド・ビルドを行った上で計上する。

(4) 市民協働と事業主体の最適化

- ・「公共」の領域における役割分担が、ますます多様化する中で、行政でなければ対応し得ない、行政が実施する必要がある事業かどうかを精査しながら、市民・NPO・民間事業者などとの協働によるまちづくりを更に進めていく。
- ・企業の社会的責任としてのCSR活動を支援するとともに、企業のまちづくりへの参画を促進する。

7 策定スケジュール

11月まで	計画案の作成
12月	計画決定

【 まちづくり戦略プランの体系 】

くらしいきいき
まちキラキラ
つながる人☆夢のみや
うつのみや

◆戦略Ⅰ うつのみや“幸せ力”アップ戦略

- Project. 1 家庭から地域・社会へとひろげよう！ 子どもたちの“笑顔の輪”拡大プロジェクト
- Project. 2 培った豊富な経験・知識・技術を生かす！
“げんき高齢者パワー”地域づくり応援プロジェクト
- Project. 3 地域がひとつになってつくる！ “安全社会・安心生活”創出プロジェクト
- Project. 4 ひとがふれ合い、ひとと都市と地球環境が調和する！
“モビリティのり・デザイン”プロジェクト
- Project. 5 “もったいない”の精神で築く！ 「持続可能な都市」形成プロジェクト

◆戦略Ⅱ うつのみや“ブランド力”アップ戦略

- Project. 6 将来の「道州」の中心的都市へ！
50万都市の中核機能・交流機能強化、活力向上プロジェクト
- Project. 7 うつのみやの魅力や個性を磨く！ 都市ブランド確立・アピールプロジェクト

◆戦略Ⅲ うつのみや“底力”アップ戦略

- Project. 8 人間力がすべての源！ 気はやさしくて力持ち“宮っ子スピリット”養成プロジェクト
- Project. 9 うつのみやの発展と活力の源！ 産業力底上げ“未来産業創造”プロジェクト
- Project. 10 市民・事業者・行政のパートナーシップがうつのみや躍進の原動力！
みんなでつくる“大好き地域”創造プロジェクト